

# くすりのしおり

内服剤

2020年12月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

## 商品名：マグコロール散 68%分包 100g

主成分：クエン酸マグネシウム (Magnesium citrate)

剤形：やや黄色を帯びた白色の散剤

シート記載：



## この薬の作用と効果について

塩類下剤で、腸管内に水分を貯留することにより、瀉下作用を発現し腸管内洗浄効果を示します。

通常、大腸検査（X線・内視鏡）前処置における腸管内容物の排除、腹部外科手術時における前処置用下剤として用いられます。

## 次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。消化管閉塞または疑い、硬結便、急性腹症の疑い、腎障害、中毒性巨大結腸症、心機能障害、高マグネシウム血症、胃切除の既往、腹部外科手術の既往、腸管狭窄、腸管憩室がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

## 用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（（ ）：医療担当者記入）
- ・大腸X線検査前処置、腹部外科手術時における前処置、大腸内視鏡検査前処置（高張液）：本剤50g（主成分として34g）を水に溶かして全量約180mLとし、通常、成人は1回144～180mLを検査予定時間の10～15時間前に飲みますが、年齢・症状により適宜増減されます。  
大腸内視鏡検査前処置（等張液）：本剤100g（主成分として68g）を水に溶かして、全量約1,800mLとして、通常、成人は1回1,800mLを検査予定時間の4時間以上前に200mLずつ約1時間かけて飲みます。  
年齢・症状により適宜増減されますが、1回2,400mLを越えることはありません。  
本剤は1包100gです。いずれの場合も、必ず指示された溶かし方、飲み方に従ってください。
- ・自宅で飲む場合は、副作用があらわれた時の対応がとれるよう、付き添いの人がいる場所で飲んでください。飲む前日あるいは飲む前に排便がない場合は、医師または薬剤師に相談してください。
- ・等張液を飲む場合は、コップ1杯（約200mL）ずつゆっくり飲んでください。
- ・高張液を飲む場合は、脱水状態を防止し、薬の効きめを良くするために、検査準備表の指示に従い十分に水分をとってください。
- ・飲んでいる途中、もしくは飲み終わった後に吐き気、嘔吐、腹痛、めまい、ふらつきなどの症状が出たときは、直ちに受診してください。
- ・高齢者の方は特に時間をかけて飲んでください。
- ・以前に胃を切除したことがある人は、一口ずつ時間をかけて飲んでください。
- ・全量飲んでも排便がない場合には、医師または薬剤師に連絡してください。
- ・飲み忘れた場合は、検査や手術ができない場合がありますので、医師または薬剤師の指示に従ってください。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

## 生活上の注意

### この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、腹部膨満感、腹痛、嘔気、嘔吐、倦怠感、めまい、ふらつきなどが報告されています。

このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[ ]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・腹痛、腹部膨満感、嘔吐 [腸管穿孔、腸閉塞]
- ・腹痛、血便、嘔吐 [虚血性大腸炎]
- ・徐脈、筋肉に力が入らない、意識がぼんやりして睡眠に近い状態 [高マグネシウム血症]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

### 保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

**医療担当者記入欄**

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。